

「防災特別授業を受けて」

菅浦 大介

今までは、テレビなどを見て地震のことは分かっていりつもりでいたけど、今日の「防災特別授業」を受けて分かったことが、たくさんありました。

それは、テレビや学校の避難訓練で、習ったようにすれば、必ず助かると思いこんでいたのは、間違いで答えは一つでは無いと言ったことが分かったのと、スマトラ沖地震で大きな被害にあった人たちは、地震や津波の知識が無かったために、被害にあったのだから、スマトラの人たちだけでなく、世界中の人々に伝えて行かなければならないと言ったことが分かりました。あと、その地域によってこの自分の命の守り方が違うから、考えて行動しなければなりません。

あと、ぼくが思ったのは、地震や津波に対して、研究をやめてしまうと、また人の命が無

くなることか、おきてしまおうと思いました。
今日は、渚中学校に来てくださってありがとうございました。
とうとうがいましました。